

<b>令和2年度 指定管理者施設管理評価シート</b>		<b>部課名</b>	文化産業観光部文化振興課	
<b>施設名称</b>	7 東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂	<b>指定管理者</b>	公益財団法人台東区芸術文化財団	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	<b>指定期間</b>	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 奏楽堂は、昭和58年に東京藝術大学より譲り受けた日本最初の木造洋式音楽ホールである。国の重要文化財でもあるため、奏楽堂を保存継承し、生きた文化財として活用することにより、芸術文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区上野公園8-43 [規模] 延床面積 1,851.39㎡ 木造地上2階地下1階（一部RC） 資料展示室、楽屋控室、楽屋、練習室、倉庫、パイプオルガン機械室、舞台、客席、ホワイエ、応接室、資料整理室、資料保管室、事務室、発電機室など
(3)	[委託事業] 休館中における施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の整理整頓、その他環境整備などの事業。 [自主事業] 日本歌曲コンクール、入賞記念コンサート、木曜コンサート、日曜コンサート、N響メンバーコンサート、特別事業「30周年記念コンサート」、企画展など
(4)	[利用者] 開館中全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 開館日：日・火・水曜日（木・金・土曜日はホール等の使用がない場合）・休館日：月曜日／年末年始／特別整理期間等・開館時間：午前9時30分～午後4時30分
(6)	[人員体制] 8名 （内 訳）固有常勤職員（1）研究員（1）特例嘱託員（1）派遣職員（1）再任用職員（4） （前年増減）増減なし

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料（指定管理料）	22,688,000	19,729,883	25,637,000	19,638,516
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（ ）	0	0	0	0
	計	22,688,000	19,729,883	25,637,000	19,638,516
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	3,525,000	3,166,693	6,414,000	5,246,255
	維持管理費（委託料・賃借料）	14,787,000	12,111,488	15,480,000	11,383,289
	修繕費	609,000	208,656	500,000	337,700
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（印刷製本費等）	3,767,000	4,243,046	3,243,000	2,671,272
	計	22,688,000	19,729,883	25,637,000	19,638,516
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数	日	151	-	91	169
ホール使用日数	日	203	-	53	205

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
入館者数	人	10,590	-	16,651	21,650
ホール利用件数	件	60	-	35	137

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
-	

**6. 評価の観点**  
 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)  
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の区との必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有に努めた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	東京藝術大学等関係団体との連携のもと、施設改修前の自主事業を再開させた。臨時休館期間の1か月間を除けば、入館者数は令和元年度目標を上回る水準であった。また区との連携のもと、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応を適切に行った。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	普段から設備の定期点検結果をよく把握し、施設の不具合等についても適切な対応をとっている。大型台風に伴うホール天井からの雨漏りに際して、ホール座席の交換、清掃や、座席保護の処置など、区と連携し適切に対応した。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	今後の施設管理や自主事業は、アンケートの結果をふまえ、入館者サービスの向上を図る必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	管理経費について、休館時の楽器保管委託費やリニューアルに係る初度調弁費用がなくなったため、施設管理費が減となっているが、引き続き削減のための工夫を要する。

(6) 優れた取組み <<加点項目>> <small>※点数上限：10点</small>	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

**7. 総合評価** 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

<p><b>良好</b></p> <p>( 95 / 110点)</p>	<p>【所見】</p> <p>東京藝術大学等関係団体との連携のもと、自主事業を再開させた。また大型台風による雨漏りへの対応など、区と連携し施設保全に適切に努めた。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>施設管理や自主事業について、入館者の声を踏まえた更なる取組みが必要である。</p>
--------------------------------------	---	--